

資料 4

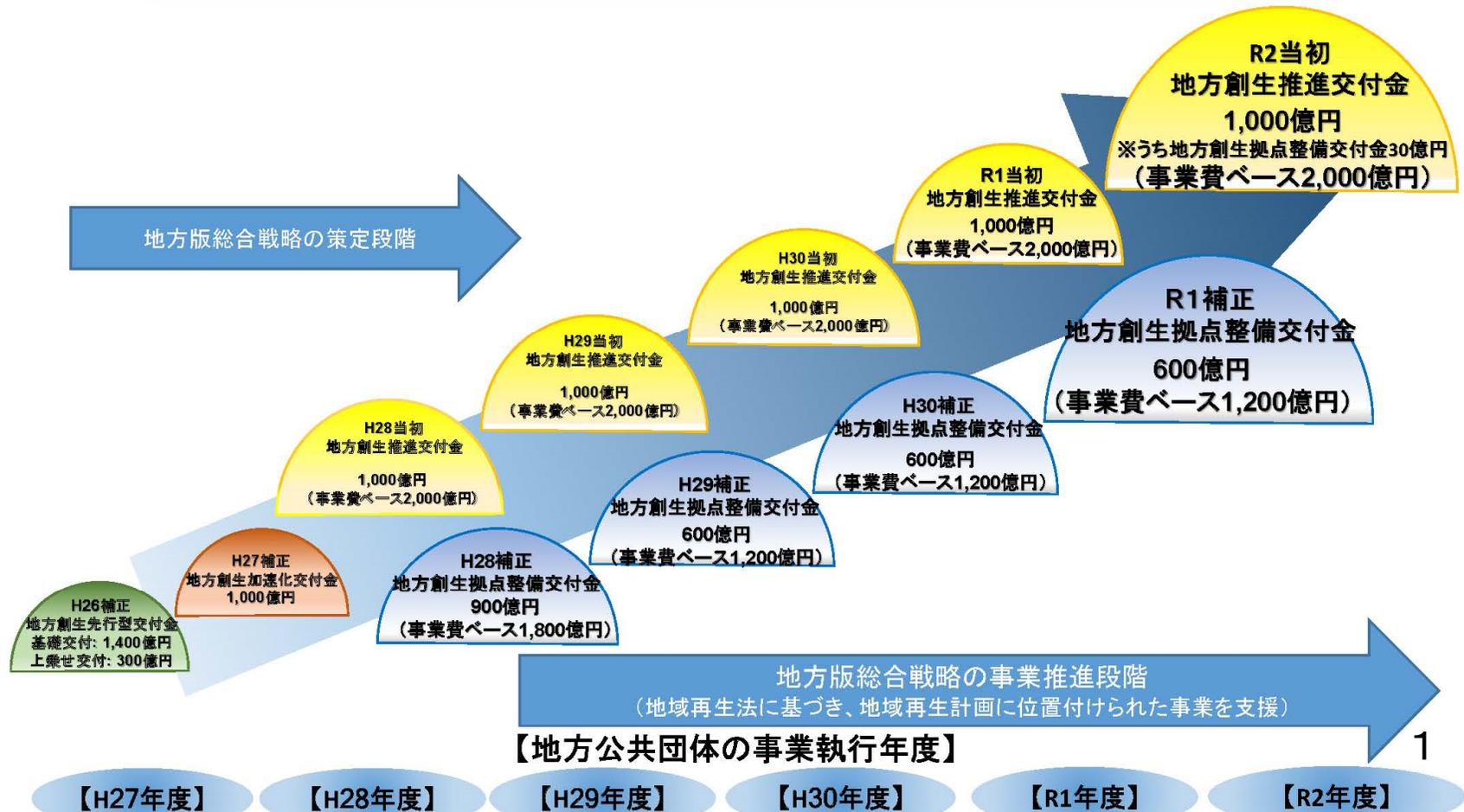
地方創生推進交付金・拠点整備交付金 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税） に係る事業の令和元年度実績について

令和 2 年 6 月 2 2 日
総合計画審議会

1 地方創生推進交付金・拠点整備交付金を活用した事業の令和元年度実績について

地方創生関係交付金の概要(イメージ)

- 自治体の自主的・主体的な取組で、先導的なものを支援
- KPIの設定とPDCAサイクルを組み込み、従来の「縦割り」事業を超えた取組を支援



地方創生推進交付金活用事業

(1) がんばる中小企業活性化事業（包括的ビジネス支援）

（期間：H28～30年度 効果検証：R2年度まで）

(2) ものづくり産業の高度化及び産業の多様化推進事業

（期間：R1～3年度 効果検証：R5年度まで）

(3) 観光×健康×スポーツ

地域資源を最大限に活用したまちのにぎわいの創出

（期間：H30～R2年度 効果検証：R4年度まで）

地方創生拠点整備推進交付金活用事業

(4) デンパークリニューアル整備計画

（期間：H29年度 効果検証：R2年度まで）

(5) デンパーク

フローラルプレイスリニューアル整備事業

（期間：R1年度 効果検証：R4年度まで）

(1) がんばる中小企業活性化事業（包括的ビジネス支援）

（事業期間：H28.29.30年度（効果検証～R2年度））【地方創生推進交付金活用事業】

①事業目的

平成29年6月にオープンしたアンフォーレ内に、同年10月に、創業から新製品開発、新事業開拓、事業承継まで、分野を問わずビジネスを包括的にサポートする拠点（安城ビジネスコンシェルジュ（ABC））を開所させた。専門家の配置や、金融機関や大学等の支援機関との連携により、ビジネスの課題を解決に導き、事業の拡大や経営力の向上を目指す。また、キーポート内のコワーキング施設の運営を委託し、創業の促進を図る。

②参考 H30年度事業内訳・事業費（実績額）

本計画のR1年度の事業費は発生していません。（H30年度までに実施済）

	事業内訳	事業費（千円）
1	ものづくり産業の高度化事業	52,584
2	産業の多様化促進事業	15,200
3	コワーキング施設運営事業	10,184
4	女性再就職支援事業	294
5	若者無業者就労支援事業	3,000
合 計		81,262千円

④KPI（重要業績評価指標）(H27年度設定)

KPI（R1年度）		実績値
創業者数	121人	150人※
新製品・新技術開発事業採択件数	5件	4件
ものづくり人材育成講座受講者数	30人	42人

※参考値：安城市取扱分のみ

1 ABCセミナー



2 研究開発促進事業補助



3 コワーキング施設



4 女性活躍促進シンポジウム



5 若者無業者職場体験



(2) ものづくり産業の高度化及び産業の多様化推進事業

(事業期間：R1.2.3年度（効果検証～R5年度））【地方創生推進交付金活用事業】

4

①事業目的

前身の「がんばる中小企業活性化事業（包括的ビジネス支援）」により安城ビジネスコンシェルジュ（ABC）での中小企業の相談は蓄積されている。現場改善に対する相談はこれまで通り維持しつつ、中小企業が将来を見据え、既存技術の応用や、異業種、異分野との連携により、新たな製品の製造、顧客の獲得を図る支援に力を入れる。また、ABCの相談機能を軸に、企業間連携、創業支援、女性活躍推進のレベルをさらに一段高め、事業の高度化、深化を図る。

② R1年度事業内訳・事業費（実績額）

	事業内訳	事業費（千円）
1	ものづくり産業の高度化事業	30,676
2	産業の多様化促進事業	28,418
合計		59,094千円

③ KPI（重要業績評価指標）(H30年度設定)

KPI（R1年度）	実績値
創業者数	133人 150人※
ABCが関わった案件で企業間連携に成功した企業、創業者数	3件 5件
ABCへの相談件数	2,460件 3,101件

※参考値：安城市取扱分のみ



(3) 観光×健康×スポーツ

地域資源を最大限に活用したまちのにぎわいの創出

R 1年度分
参考資料

(期間：H30.R1.R2年度 効果検証～R4年度) 【地方創生推進交付金活用事業】

①事業目的

観光を柱とした総合的なまちづくりを行い、交流人口の獲得、地域消費の拡大を図りながら、同時に市民の健康寿命も延伸される取り組みを行う。
地域資源の磨き上げ、新たなコンテンツの開発、未来への投資を行う。

② R 1年度事業内訳・事業費（実績額）

	事業内訳	事業費（千円）
1	観光PR事業	14,995
2	観光客獲得及び回遊性向上事業	9,776
合計		24,772千円

③ KPI（重要業績評価指標）(H29年度設定)

KPI（R1年度）		実績値
観光入込客数	2,370,000人	2,906,813人
デンパーク入園者数	575,000人	526,172人
中心市街地歩行者通行量	3,680人	3,545人
BMIが標準の人の割合	68.9%	66.4%



(4) デンパークリニューアル整備計画

(期間：H29年度 効果検証～R2年度) 【地方創生拠点整備交付金活用事業】

①事業目的

“子どもも楽しいデンパーク”をコンセプトに「マーガレットハウス」を子ども用屋内遊戯施設に改装する。利用者アンケートで不足が指摘されている子どもの遊び場の創出と、雨天時でも集客を期待できる施設を整備することで、子どもからお年寄りまであらゆる世代の人が楽しめる公園とし、安定した集客を図る。

② R 1年度の事業内訳・事業費

本計画のR 1年度の施設整備に係る事業費は発生していません。(H29年度に実施済)
参考H29事業費(実績額)

項目	事業費
【マーガレットハウス改修工事】 厨房等移転工事、子どものあそび場整備 工事、空調改修工事	106,945千円
【子ども用屋内遊戯施設の設置】 室内遊具設置	38,739千円
合計	145,684千円

③ KPI (重要業績評価指標) (H28年度設定)

KPI (R 1年度)		実績値
マーガレットハウス入場者数	15,000人	31,167人
デンパーク入園者数	550,000人	526,172人



(5) デンパーク フローラルプレイスリニューアル整備事業

(期間：R 1年度 効果検証～R4年度) 【地方創生拠点整備交付金活用事業】

①事業目的

フローラルプレイスを愛を深めるデンパークの象徴としてリニューアル整備する。利用者アンケートより若者世代の入場者数が少ないことが判明しているため、「北欧の街並みの強化」をコンセプトに、恋人の聖地のシンボルとなる塔や異国情緒溢れる温室空間、広い工房などを整備し、若者に人気の施設としながら、恋人や家族など幅広い世代に対応した天候に左右されない集客を確保する。

② R 1年度事業内訳・事業費

項目	事業費
【フローラルプレイスリニューアル整備】 シンボル塔新設、イベント広場拡張、店舗・工房新設	341,388千円
【フローラルプレイスリニューアル工事】 トイレの洋式化、北欧の街並みに感じる照明への変更、 安全性向上のための電気設備の設置	41,652千円
(市単費) 空調設備更新等	632,523千円
合計	1,015,564千円

③ KPI (重要業績評価指標) (H30年度設定)

KPI (R1年度) ※R2年度から業績評価対象		実績値
フローラルプレイス内の店舗等の売上	0千円	リニューアルオープン前のため対象なし
デンパーク入園者数	560,000人	526,172人

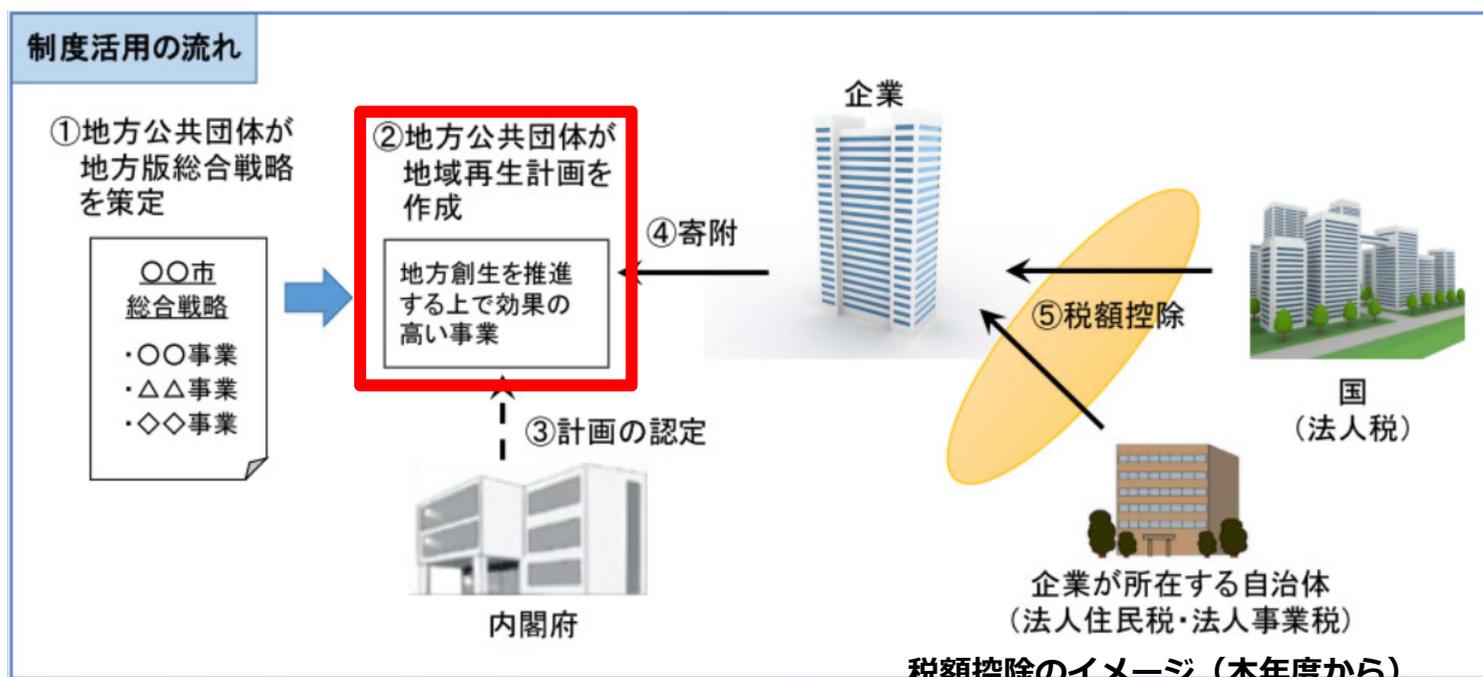
フローラルプレイス



2 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税） を活用した事業の令和元年度実績について

安城に新たな観光資源を創り出す「ソフトボール専用球場改修事業」

（期間：H28～R1年度） 【地方創生応援税制活用事業】



税額控除のイメージ（昨年度まで）



税額控除のイメージ（本年度から）



安城に新たな観光資源を創り出す「ソフトボール専用球場改修事業」

(期間：H28～R1年度) 【地方創生応援税制活用事業】

R1年度分
参考資料

①事業目的

ソフトボール場専用球戯場を、日本リーグの開催要件を満たすよう改修することで、女子ソフトボールのプロ1部リーグである日本リーグを本市で開催し、観戦客を全国から呼び込むことで、地域の振興を図る。

②事業内訳・事業費（実績額）

	事業内訳	事業費（千円）
H28	ソフトボール場の改修着手	30,000
H29	ソフトボール場の改修完了	548,217
H30	日本リーグの開催、スポーツ合宿、五輪キャンプの誘致活動	968
R1	日本リーグの開催、試合観戦実施	2,231
合計		581,416千円

観客席の改修



電光掲示板新設



日本リーグの開催



③KPI（重要業績評価指標）(H27年度設定)

市外から訪れる観戦客	目標値	実績値
R1	30,000人	16,450人

④寄付実績

	寄付額（千円）
H28	20,000
H29	100
H30	100
R1	100